

あすか製薬ホールディングス 中期経営計画2025

2021年3月期決算 あすか製薬ホールディングス中期経営計画2025
投資家向け説明会（2021年5月19日開催）より抜粋

中期経営計画2025の目指す姿

「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指す」



内分泌ホルモン研究やスペシャリティ領域での高いプレゼンスを基盤として、医薬品だけでなく「予防～検査・診断～治療～予後」のヘルスケア事業を海外も視野に展開する。

外部環境の変化

- ◆ 国内医療用医薬品市場の縮小
- ◆ 新型コロナウイルスによる影響
- ◆ 女性の社会進出
- ◆ 薬価制度の抜本改革(毎年薬価改定等)
- ◆ 医薬品の品質問題
- ◆ 医療技術の進展と医療ニーズの拡大

研究・開発

■ 研究スタイルの多様化

■ 治験戦略の複雑化

- ・ポートフォリオの優先管理徹底
- ・研究リソースの集約と分散
- ・開発ポートフォリオの見直し
- ・オンラインでの治験フォローアップ

販売・マーケティング

■ 販売戦略の見直し

■ デジタル化の加速

■ 顧客ニーズの変化

- ・学会や講演会のオンライン化
- ・オンラインサポート体制の確立

製造・流通

■ サプライチェーンの可視化

■ グローバルでの調達先の見直し

■ フレキシブルで頑健な生産体制の確立

■ 安定供給と品質確保

中長期に想定されるビジネス環境変化への対応

中期経営計画策定の土台

専門性

生み出す力

社会貢献

<4つのビジョン>

1

医療用医薬品を軸に事業スコープ（領域、地域）を拡大する

3

中核となる国内医薬品事業（スペシャリティ領域）で国内トップを確立する

2

オープンイノベーション推進により業務革新を実現する（研究開発—生産—販売まで）

4

社会から信頼される会社であり続ける

当社は外部環境の変化に対して「専門性」「生み出す力」「社会貢献」を軸に「4つのビジョン」「7つの戦略」を立案し中期経営計画を策定

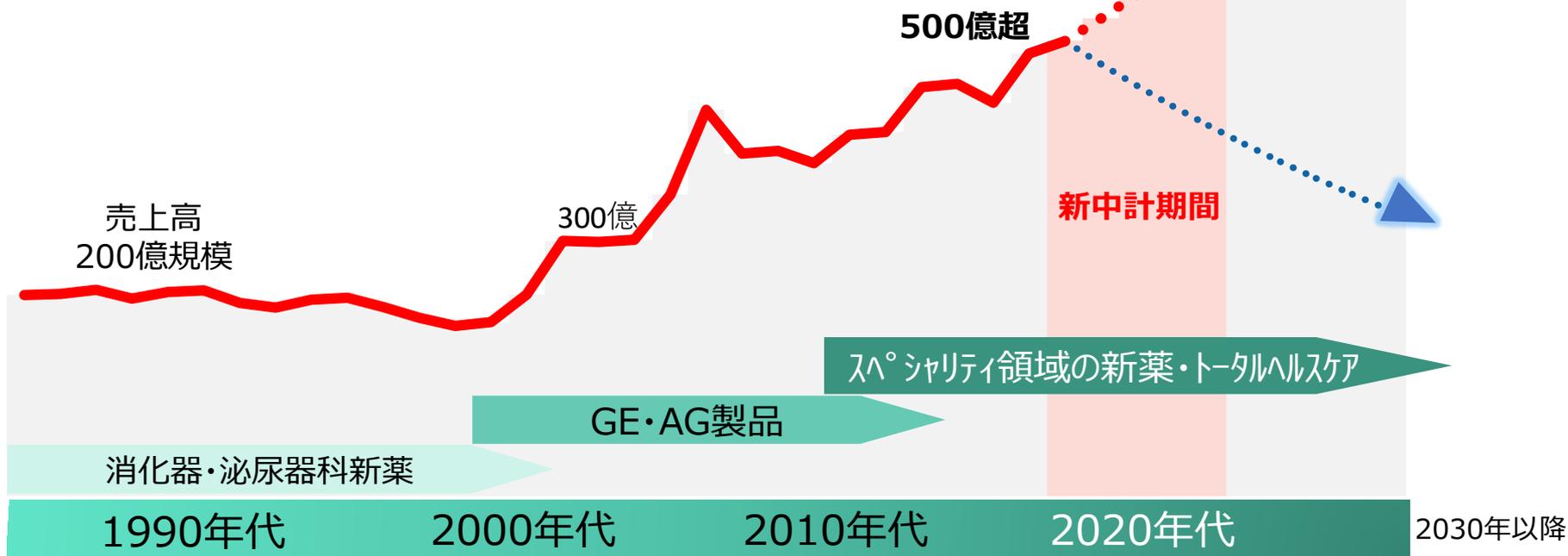
持続的な成長を目指して



あすか製薬ホールディングス株式会社

▲成長維持して次のステップへ

中期経営計画 2025 数値目標
売上高700億円 営業利益率8% ROE8%



7つの戦略

1 《専門性》《社会貢献》

スペシャリティ領域
の取り組み強化による
企業価値向上

2 《専門性》《生み出す力》

先端創薬による
新薬の継続的創出

3 《生み出す力》

海外事業の展開

4 《専門性》《生み出す力》《社会貢献》

トータルヘルスケア
実現に向けた
新たな価値提供

5 《生み出す力》

業務効率化、コスト削減、
財務基盤の強化

6 《社会貢献》

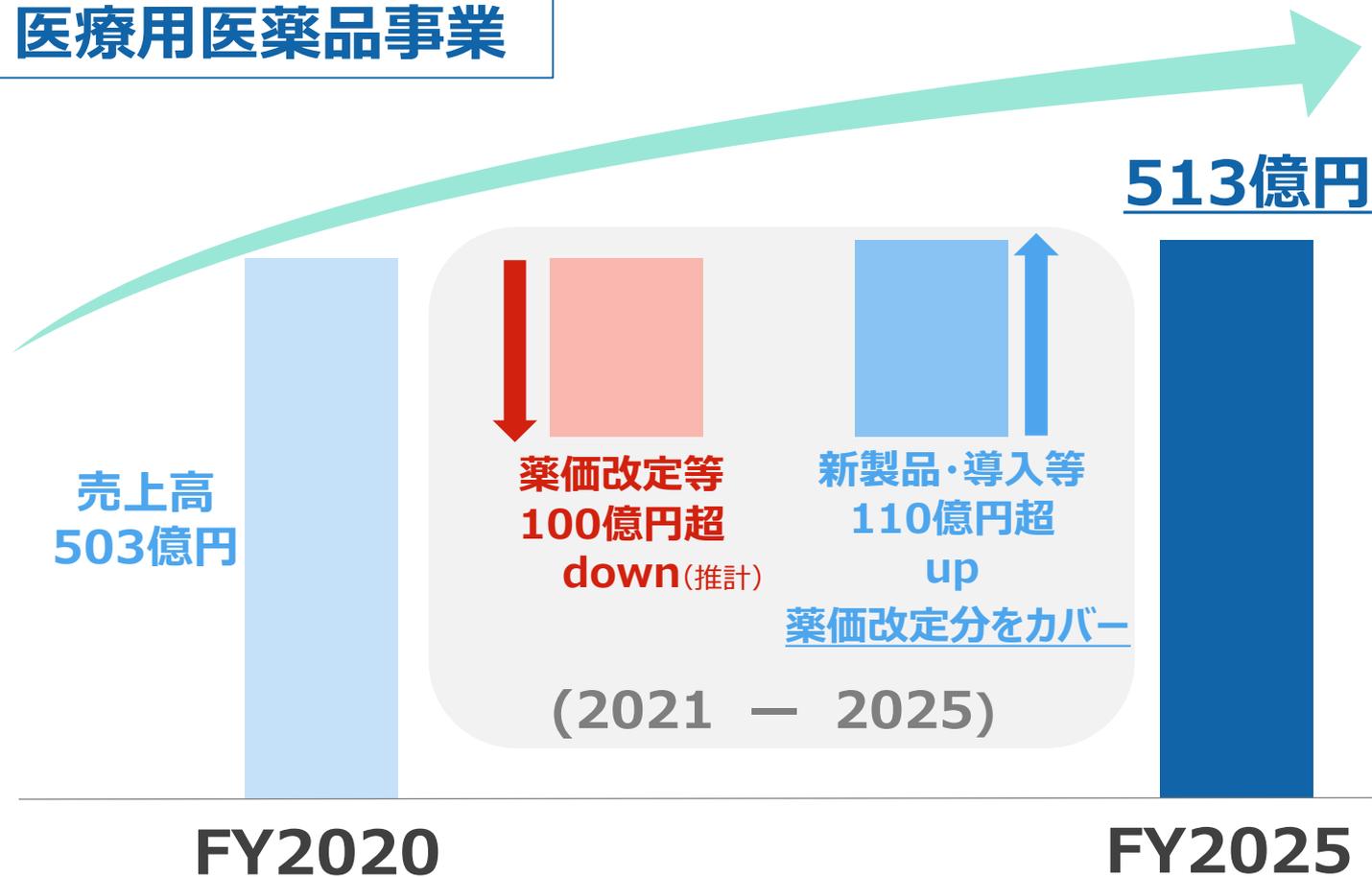
コンプライアンスの徹底と
信頼性を重視する
組織風土の醸成

7 《専門性》《生み出す力》

成長戦略を実現する
ための人材育成

あすか製薬株式会社 数値目標

医療用医薬品事業



スペシャリティ領域への取り組み強化による企業価値向上

目 標

- 産婦人科領域のリーディングカンパニーとして女性のQOL向上に貢献する
- 甲状腺疾患の啓発活動を推進し潜在患者さんの治療に貢献する
- アンメットメディカルニーズへの対応

産婦人科製品 ライフステージ別



※レルミナは子宮内膜症の効能効果追加申請中

- 開発中
- 新製品
- 承継品
- オプション契約

幅広いラインナップで
女性のヘルスケアに貢献

産婦人科領域のリーディングカンパニーへ



成長 要因

- ◆ 子宮筋腫・子宮内膜症市場へレルミナなどの浸透
- ◆ ジェミーナ錠、リオナ錠コ・プロモーション
- ◆ 導入等によるラインナップ拡充
- ◆ 疾患啓発活動による正しい知識の普及

国内産婦人科市場予測 ※富士経済

739 億円

(2021年予測)

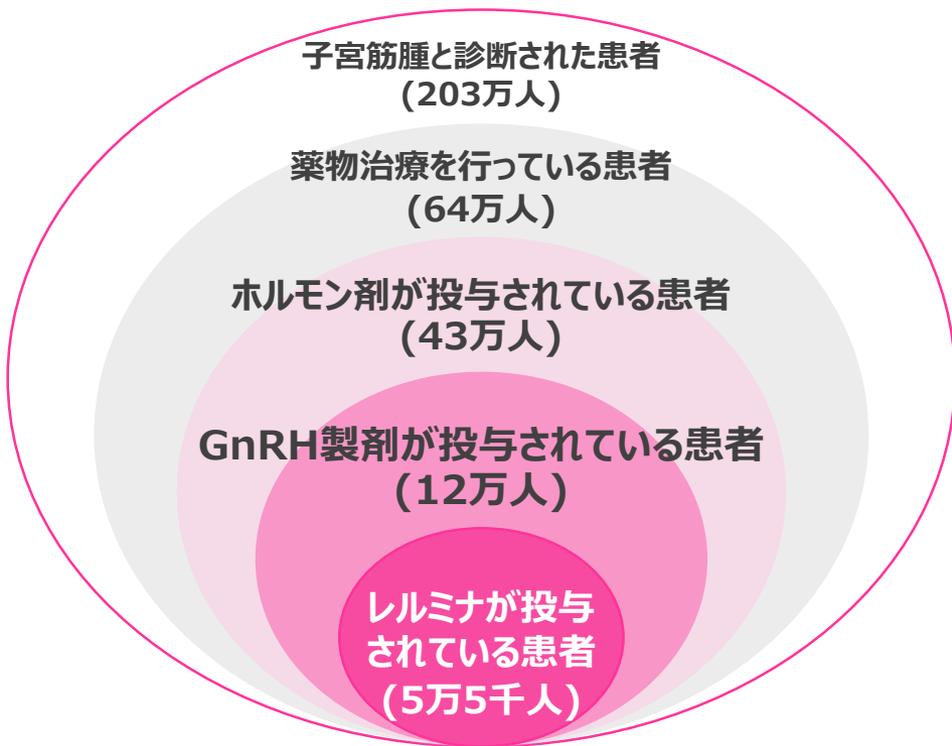
826 億円

(2025年予測)

レルミナ(レルゴリクス)による子宮筋腫・子宮内膜症への貢献

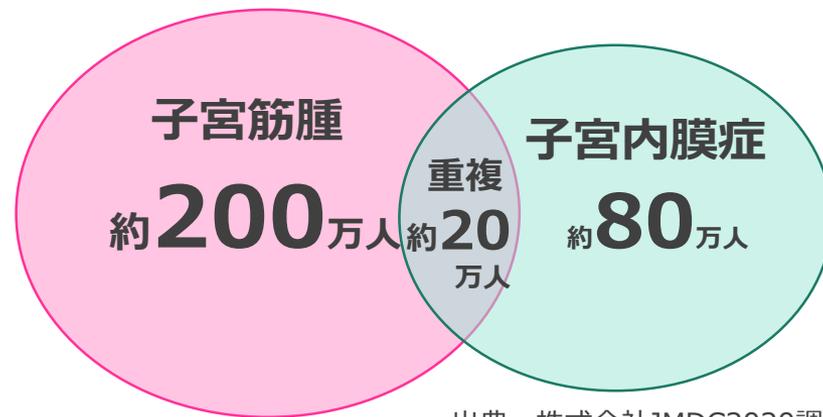
子宮筋腫治療の実態

(電子レセプトデータからの拡大推計値)



出典：株式会社JMDC2020調査

レルミナの売上推移 ※薬価ベース

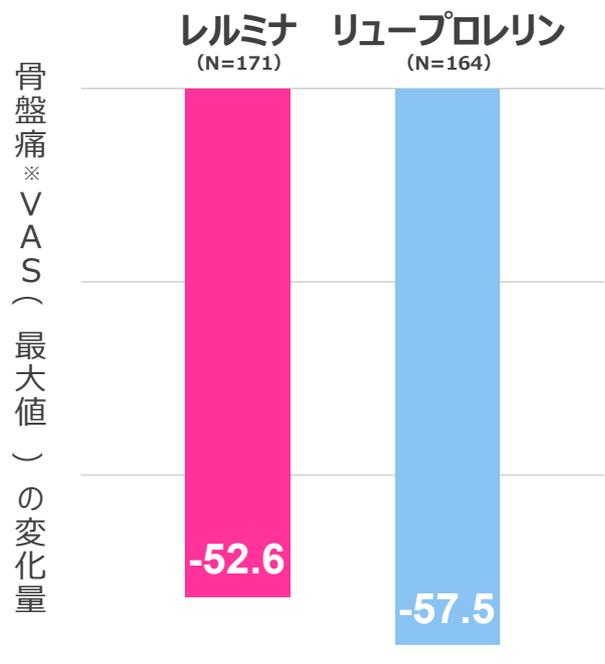


出典：株式会社JMDC2020調査

子宮内膜症効果効果追加などにより
中計期間中に100億円超を目指す

子宮内膜症治療の新たな選択肢

レルミナ錠 子宮内膜症第3相比較試験結果



子宮内膜症の効能効果追加申請
(2021年1月)

2022年前半 効能効果追加の見込み

リュープロレリンに対する非劣性を確認

第42回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会発表資料より作図
※VAS: 痛みの評価スケール (痛みのない状態を0とし、想像し得る最も強い痛みを100)

甲状腺領域 リーディングカンパニーとしての責任

甲状腺領域の取り組み

- ・安定供給の確保
- ・疾患啓発の継続
- ・関連学会との連携
- ・医療ニーズへの対応（様々な製剤ラインナップ）
- ・あすか製薬メディカルの検査事業強化



《疾患啓発》
バタフライリボンバッジ

甲状腺領域 100億円
(2025年度 売上目標)



リフキシマによるアンメットメディカルニーズへの対応

肝硬変診療ガイドラインの改訂

推奨の強さ：強 エビデンスレベル：A

(該当部分要約)

リフキシマは肝性脳症治療薬として有効であるため、合成二糖類による治療と同様に、基本的な治療薬として投与することが推奨されました。

リフキシマ売上推移

※決算ベース(百万円)



肝性脳症患者数の変化 (当社推計)



※原疾患となるC型肝炎に対して、他社から発売された画期的な治療薬により肝性脳症患者が減少

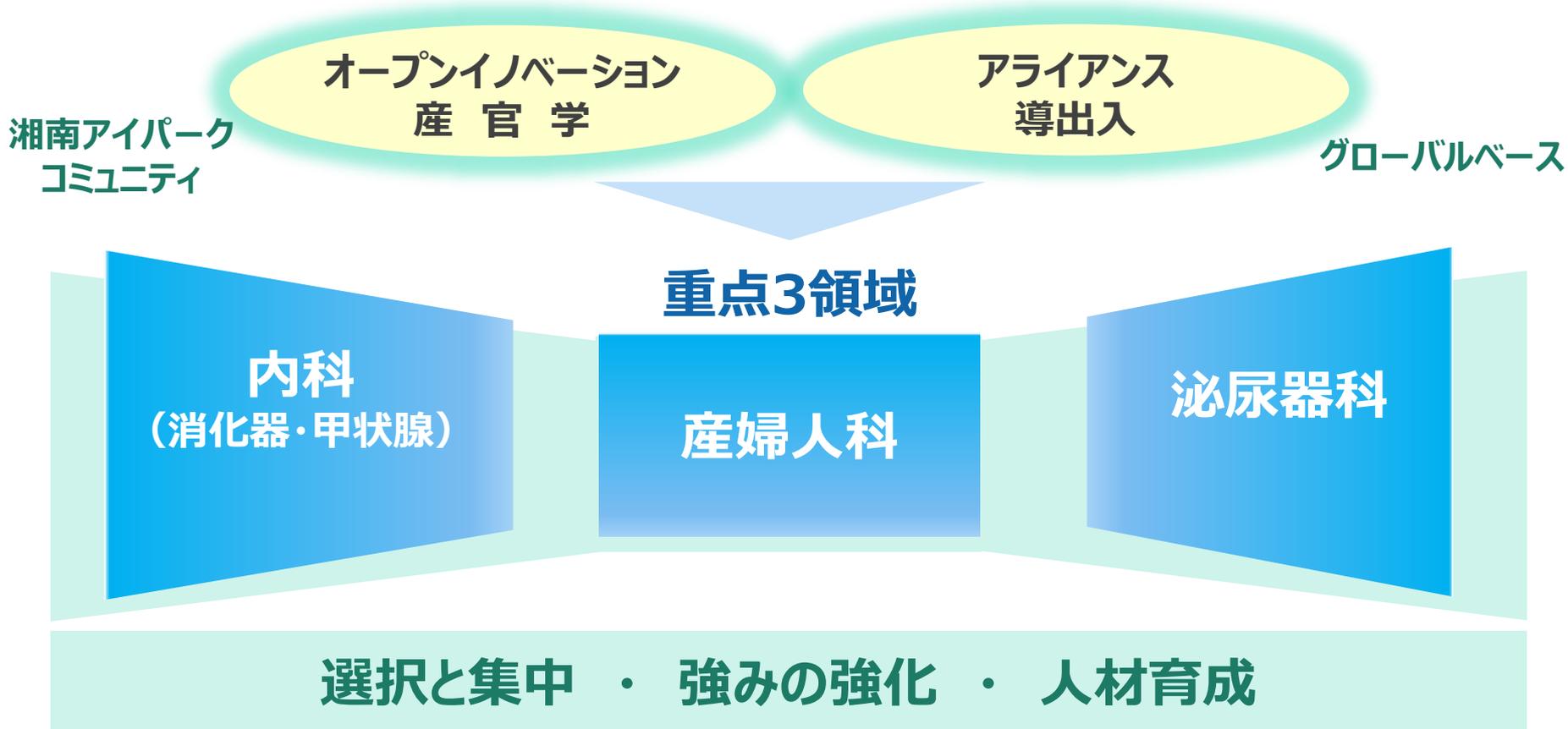
今後の取り組み

【LCM：適応拡大】

- ・小児肝性脳症
- ・クローン病
- ・他

肝性脳症患者への貢献と製品価値最大化

先端創薬による新薬の継続的創出



継続的な創薬シーズの創出 先発品比率70%を目指す

開発パイプライン

研究開発の状況 (2021年5月時点)

 前回からの変更点

開発番号(一般名)/領域・効能	Ph I	Ph II	Ph III	申請	承認
CDB-2914 (ウリプリスタル酢酸エステル) 子宮筋腫				申請 済み	
TAK-385 (レルゴリクス)  子宮内膜症				申請 済み	
LF111 (ドロスピレノン) 避妊		Ph I/ II 実施中			
L-105 (リファキシミン)  肝性脳症 (小児)			Ph III 実施中		
L-105 (リファキシミン)  クローン病		Ph I 終了			
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症			Ph II 実施中		

目標

- ・2025年度までに前臨床進行中3テーマの臨床入り
- ・アライアンス活動強化によりパイプラインを拡充

創薬の推進（アライアンス活動）



RIBOMIC

創薬に関する共同研究開発契約
ホルモン受容体を標的としたアプタマー医薬品創製を目指す



KinoPharma

子宮頸部異形成治療薬に関するオプション契約
キノファーマによる韓国第1相試験実施中



Renascience

婦人科領域における共同開発及びオプション契約
医師主導第2相試験実施中 ※ AMEDによるCiCLE事業に採択



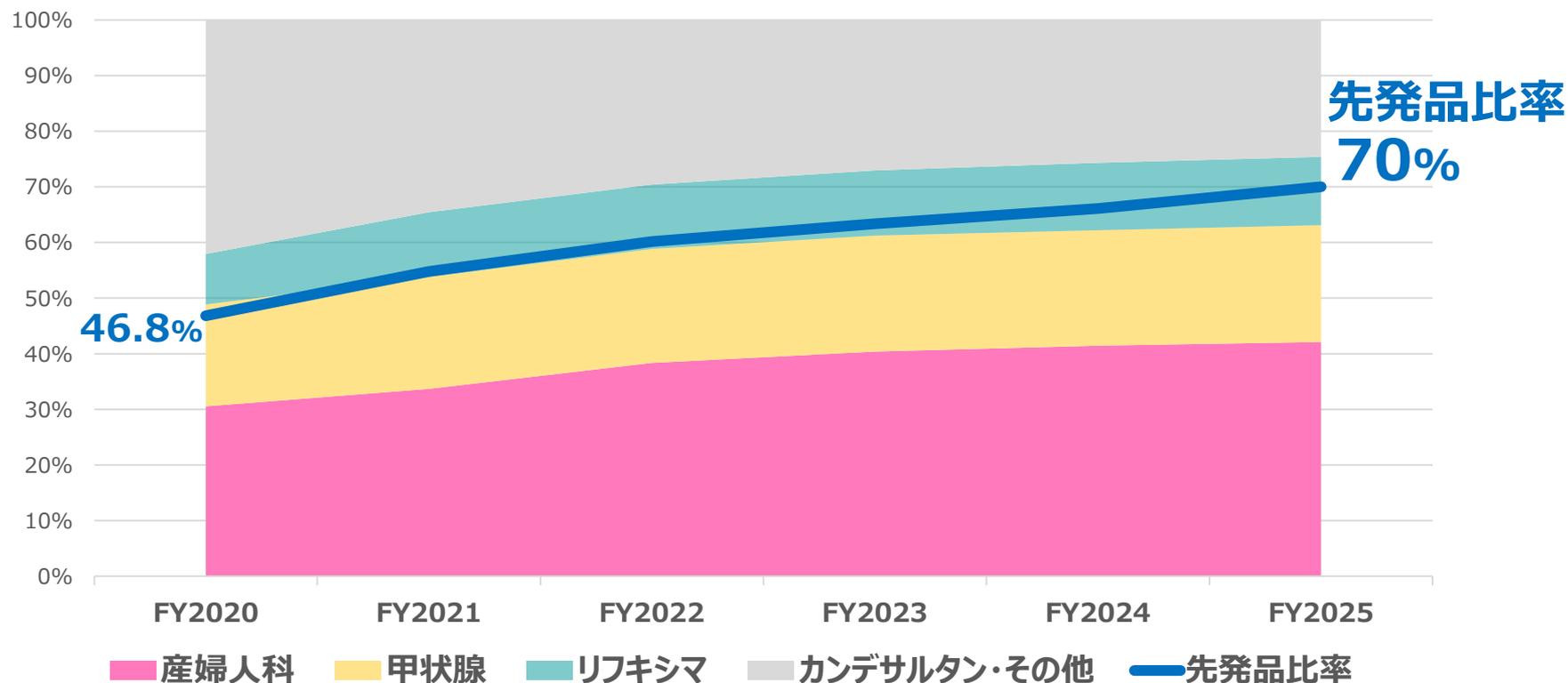
RaQualia
innovators for life

創薬研究に関する共同研究契約
イオンチャンネルを標的としたスクリーニングを実施中

▶ **体制強化によりアライアンス活動を推進**

医療用医薬品の売上構成比

医療用医薬品売上



▶ 産婦人科を中心に、先発品比率70%を目標とする

海外事業の展開

目 標

- 成長を続けるアジア市場を中心とした事業を確立する
- 当社の培ったノウハウ・技術を活かして品質向上を実現し、アジア市場におけるニーズを充足する

アジア圏での取組み

1. ベトナムでの事業展開

- ・ハタファー社の工場建設へ技術支援
- ・ハタファー社と相互人的交流を開始

2. アジア圏での導出

- ・中国等に、当社オリジナル製剤を導出



アジア市場でのビジネス展開

海外事業の展開

【株式の取得を完了】

2021年1月15日にHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Company（ハタファー社）の株式の24.9%の取得が完了するとともにハタファー社の持分法適用関連会社化が完了

【新工場建設】

当社サポートのもと、ハノイ市西部に位置する工業団地「ホアラック・ハイテクパーク」に、PIC/S GMPに対応した先進国基準の新工場を建設予定



完成イメージ図（2021年9月着工、2023年度中に稼働予定）

【人材交流】

両社間での人材派遣を実施予定。



トータルヘルスケア

あすかアニマルヘルス株式会社

事業内容

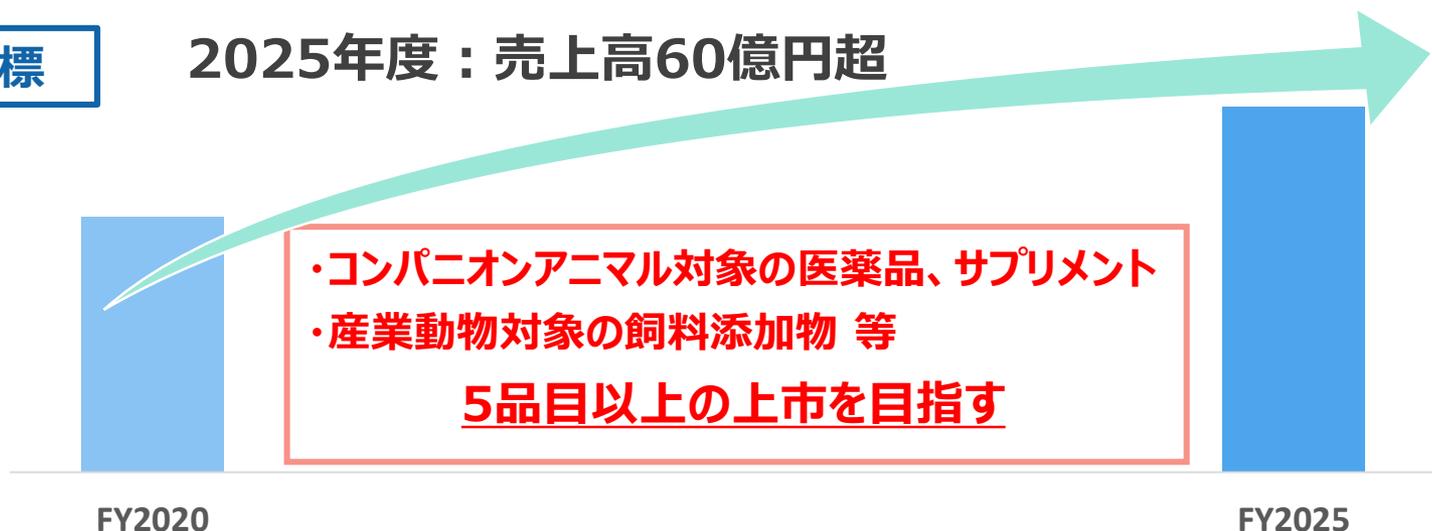
動物用医薬品、飼料および飼料添加物、原料等の製造、販売

経営ビジョン

畜水産領域の繁殖・免疫と栄養に強みを持ち、
コンパニオンアニマルの健康を支える唯一無二の企業になる

数値目標

2025年度：売上高60億円超

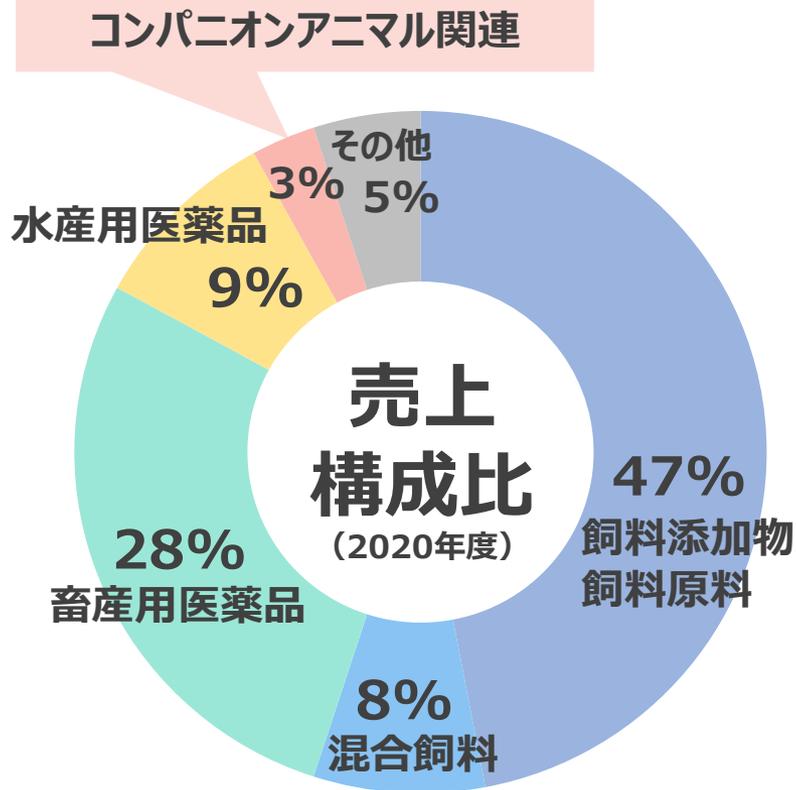


取り組み

- 畜水産領域の重点品及び新製品の上市・育成
- コンパニオンアニマル新製品の上市・育成
- グローバルへの志向
- 動物薬品・飼料・畜水産業界ニーズに応え持続可能な社会に貢献する

トータルヘルスケア

あすかアニマルヘルス株式会社



医療用医薬品の動物薬転用により上市

《あすか製薬 製品》

メルカゾール®

チロブロック®

猫用の甲状腺機能亢進症治療薬

2021年1月発売



その他、
『動物用アトニン-O』
『動物用エナルモンデポー』
などの製品を動物薬転用により発売中

グループ間での技術・ノウハウ共有や人材交流活発化によりシナジーを創出

トータルヘルスケア

株式会社あすか製薬メディカル

事業内容

臨床検査及び生物学的試験の受託業務

重点目標

毛髪診断と甲状腺疾患検査による事業の拡充

数値目標

5億円規模

取り組み

内因性ホルモン微量分析

(ステロイドホルモン、甲状腺ホルモンなど)

保有技術

- ✓ ステロイドホルモン高感度分析
- ✓ ステロイドホルモン多項目一斉分析
- ✓ 多岐にわたるマトリックスの分析

研究検体
受託事業

毛髪診断

あすか製薬
ヘルスケア事業と協業

甲状腺疾患
検査事業

トータルヘルスケア

あすか製薬ヘルスケア事業



【aska-La 葉酸マルチサポート】

葉酸を含む、必要な栄養素を1日1袋でバランスよく摂ることができるサプリメント



【ユイノブラシ】

より適切な細胞採取を目指し、細胞診の精度向上をサポートするために開発された「子宮頸部細胞採取器具」

【ユイノブラシEM】

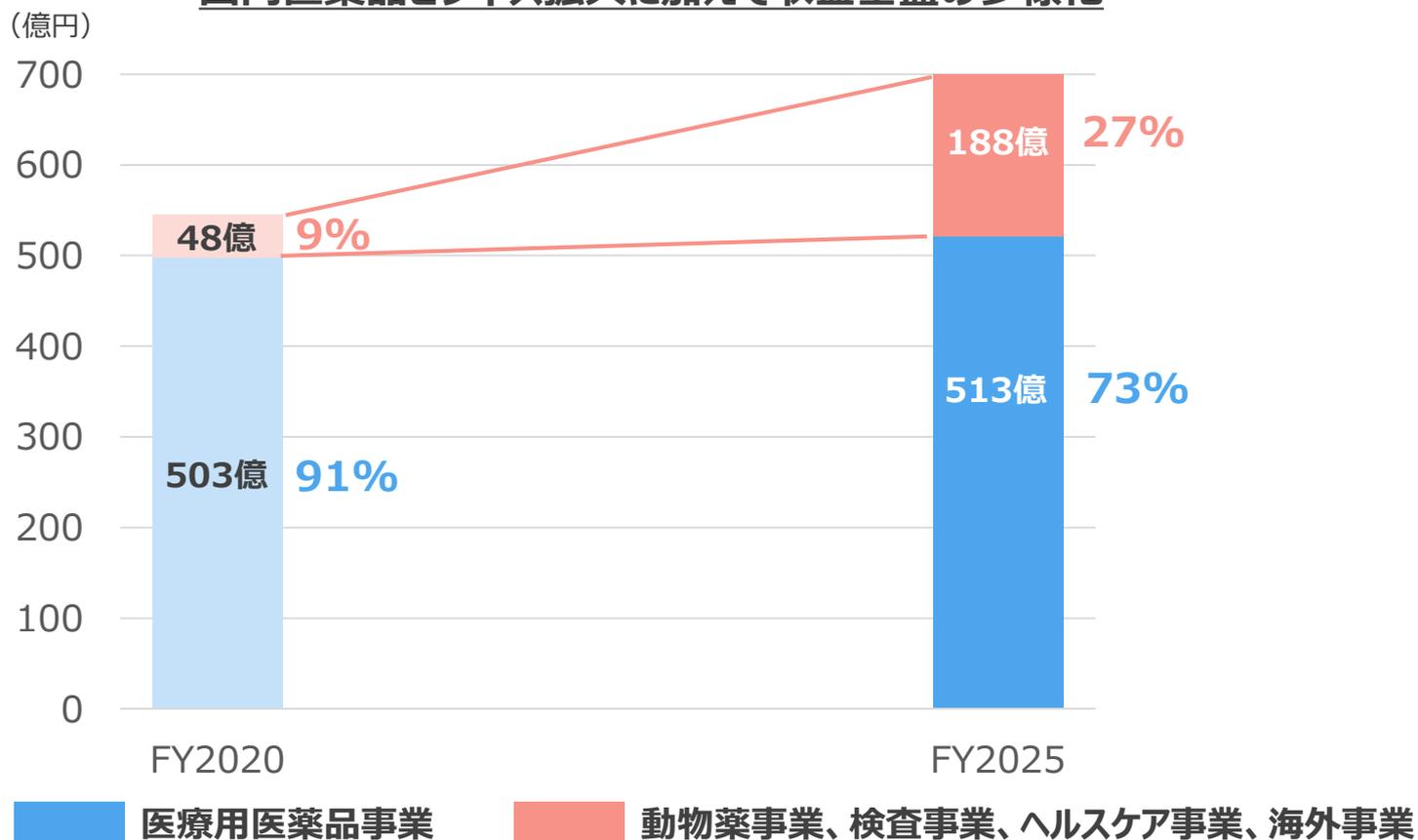
高い操作性と安定性で、適切な細胞採取が可能な「子宮内膜細胞採取器具」

女性関連や強みを活かしたヘルスケア事業の展開

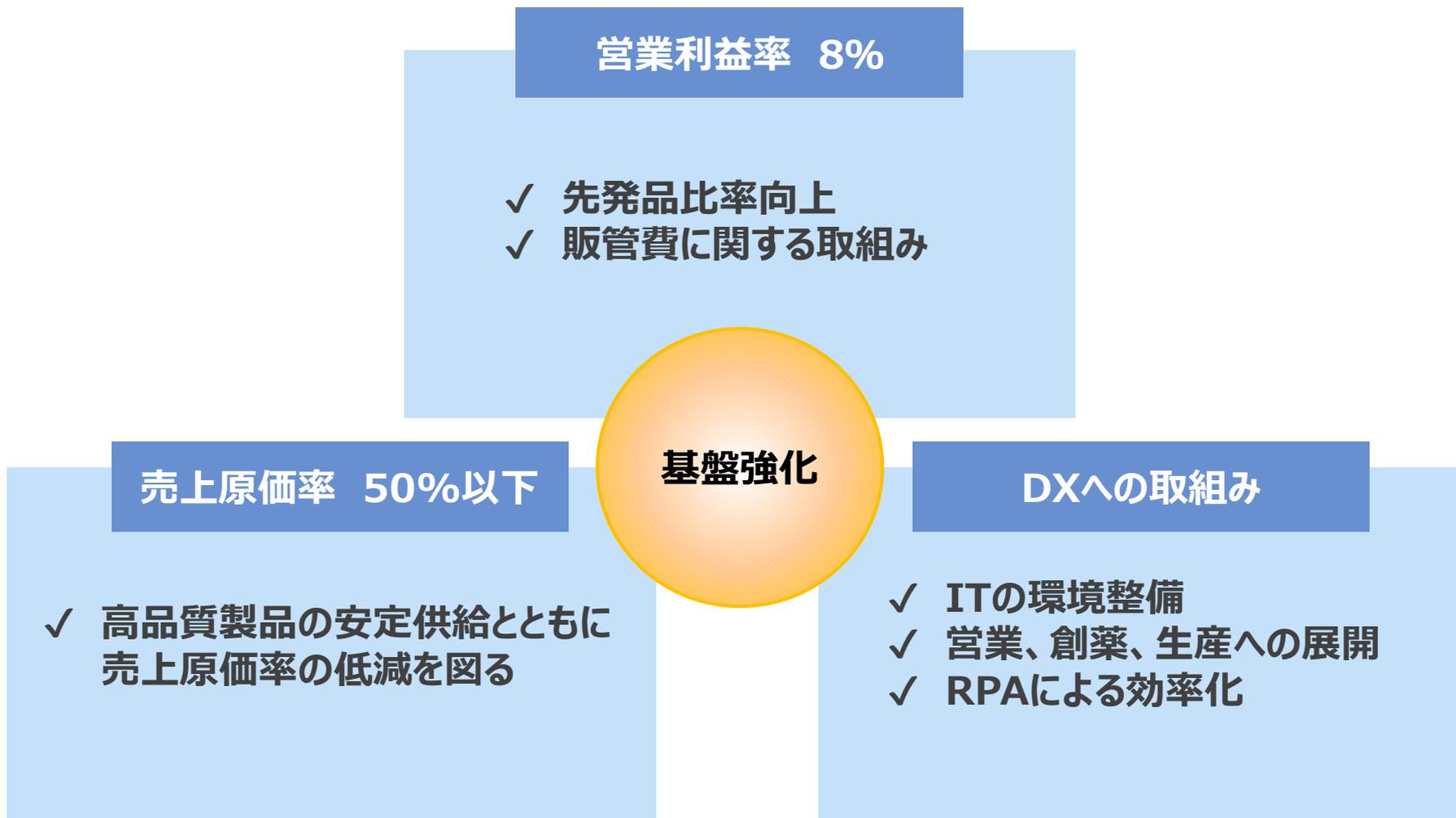
数値目標

売上高700億円 営業利益率8% ROE8%

国内医薬品ビジネス拡大に加えて収益基盤の多様化



業務効率化、コスト削減、財務基盤の強化



《社会貢献》
コンプライアンスの徹底と
信頼性を重視する組織風土の醸成

《専門性》《生み出す力》
成長戦略を実現するための人材育成

新規事業や環境変化に対応できる人材

グローバル人材・DX推進人材

多様な人材の活躍

女性・キャリア・シニアが活躍できる環境

信頼され続ける企業

高品質製品の安定供給

国内外のサプライチェーンの
再点検・継続点検

コンプライアンス徹底

遵守教育・訓練の継続と拡充

HD体制での内部統制強化

経営と執行の分離による業務執行の監督機能強化
ESG委員会の設置

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の社会に貢献する

ESG経営の推進

【経営理念】

先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の社会に貢献する

ESG委員会の設立
2021.4.1～

重要課題の特定

社会、ステークホルダー
への価値提供

当社が取り組むSDGsの目標



【候補となる当社の提供価値】

女性の社会
進出への貢献

アンメット
メディカルニーズ
への対応

人と動物の
共生

低侵襲検査
の提供

環境面への
配慮

あすか製薬ホールディングスはESG委員会を設立しました。
今後当社が取り組む重要課題を特定し、公表して参ります。

重要な注意

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先

グループ経営企画部

Tel : 03 - 5484 - 8366

e-mail: kouhou@aska-pharma.co.jp